

平成 27 年度の部会の課題検討において配慮すべき事項

1 トランジットハブ・道路ネットワーク部会

平成 27 年度には、下表に示す課題・内容を検討することになるが、その際には、「高度なトランジットハブ」機能を実現する上で必要となる、「他の交通手段への円滑な乗換」や「現地の地形を踏まえた計画」、あるいは「周辺道路とのアクセス」等の点について、配慮しながら進めることとする。

課題	詳細	内容
施設規模・配置 (駐車場・広場・ 南北道路)	駐車場	位置、規模、構造(平面、立体)
	パーク&ライド駐車場	位置、台数
	交通広場	位置、形状、次世代型交通研究
	バス(路線・高速・観光)、タクシー、レンタカー・家用車の乗降スペース	位置、台数
	南北道路	必要性、位置、機能ほか
	街区道路	位置、機能、規格、電線地中化
	構内道路	位置、機能、規格
	利便性(動線、歩道)	人、自動車等の動線の検討
	交流施設(イベントスペース、コミュニティ施設、公園等)	有無、位置、規模、機能(多目的スペース)
周辺道路 ネットワーク	周辺道路(SIC アクセス道路・国道 153 号・ 県道市場桜町線・周辺市道)への接続	周辺道路との接続、交差点位置
高架下空間の活用	コンコース(南北を繋ぐ歩行者通路)施設	規模
造成高の検討	排水、河川、調整池等、各施設間の配置位置	安全性の確保、移動円滑化